

当社は『お客様への新たな価値の創造』を経営理念として掲げています



TAKITOMI 助っ人宣言



湿式タイヤ洗浄機

MTW-10



TAKITOMI 建設・産業機械 レンタル・販売・修理
瀧富工業株式会社

URL : <http://www.takitomi.co.jp>

本 社

〒451-8701 名古屋市西区こも原町148番地 TEL(052)501-3231 FAX(052)501-3061

常滑営業所

〒479-0003 常滑市金山字大俣9番地の13 TEL(0569)44-0321 FAX(0569)44-0391

静岡営業所

〒431-1111 浜松市西区伊左地町2293番地1 TEL(053)485-2921 FAX(053)485-3061

三河営業所

〒506-0101 岡崎市岡町字水口7番地1 TEL(0564)57-1021 FAX(0564)53-3321

岐阜営業所

〒501-0234 岐阜県瑞穂市牛牧1457番地1 TEL(058)326-1881 FAX(058)326-1882

飯田営業所

〒399-3102 長野県下伊那郡高森町吉田2173-1 TEL(0265)34-3711 FAX(0265)34-3811

尾鷲出張所

〒519-3403 三重県北牟婁郡紀北町海山区上里398番地1 TEL(0120)00-8315

白鳥出張所

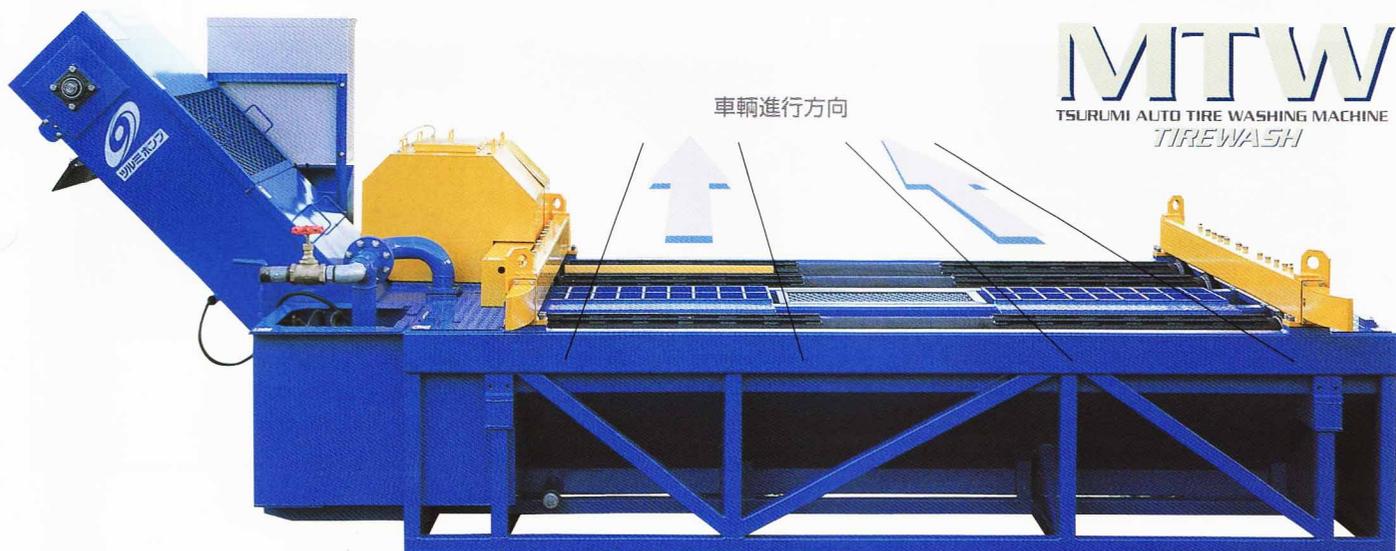
〒501-5103 岐阜県郡上市白鳥町二日町字高前397番1 TEL(0575)82-5751

武豊出張所

〒470-2511 知多郡武豊町字道仙田9番地23 TEL(0569)72-8221 FAX(0569)72-8281

自動タイヤ洗浄機 MTW型

ダブルタイヤ間の頑固な泥汚れも
強力な水噴射で素早く洗浄。



■50/60Hz共通標準仕様

型 式	MTW-10
寸 法	長さ5150mm×幅2080mm×高さ1920mm
使用水量	洗浄水循環使用のため1台あたり3ℓ～10ℓ補給(自動補給)
使用電力	ロール駆動モータ 2.2kW 排泥コンベヤ駆動用モータ 0.4kW 洗浄スプレー水用水中ポンプ 5.5kW } 合計 8.1kW
洗浄車輛	大型車輛(10tダンプ・トラック)
洗浄時間	待ち時間5秒+前輪15秒+待ち時間5秒+後輪15秒 合計40秒
洗浄方式	ロール上でタイヤを回転させ、両サイドと下部からの高圧スプレー方式
排泥方式	洗浄により機内に落ちた泥土は清澄剤投入により水と泥分に分離されコンベヤにて機外へ自動排出
質量(重量)	3600kg

●表示質量は商品単体乾燥質量です。

■標準付属品

- 遠隔操作スイッチ(ケーブル6m付)……………1個
- バトライト(ケーブル12m付)……………1式
- 計量カップ(清澄剤用)……………1個

■特別付属品

- 清澄剤
- 操作盤用防水カバー

■特殊仕様

- 右勝手仕様
(排泥コンベヤは作業構内より出口側に向かって左側を標準型としていますが、設置環境に合わせて変更できます。)

タイヤ洗浄機MTW-10型 設置手順

【設置前の準備事項】

1. 設置場所付近に分電盤を設置
2. 水道水(給水用の水)の確保
3. 車両進入方向の確定する。

【設置手順】

1. 掘削機で地面に縦6.5m×幅3m×深さ1.05mを掘削。
※深さは最終仕上り路盤からの深さです。
2. 底部に基礎用砕石を厚さ140～200mm敷いて転圧。
3. その上にコンクリートを厚さ50mm打設。
4. 養生後、タイヤ洗浄機用鋼板製簡易ピットを設置。
5. 簡易ピット設置後、ピット内にタイヤ洗浄機を据付。
6. 簡易ピット設置後、外周を埋め戻し転圧。
7. 簡易ピット前後(車両進入路)に敷鉄板を設置。

※現場設置地盤の状況により2, 3の厚みを変更する場合は、
最終仕上り路面GL △850mmを確保して下さい。

【注意事項】

- ※車両進入方向を確認する。
- ※N値に注意して、施工願います。

タイヤ洗浄機用鋼板簡易ピット設置手順

①掘削機で地面に縦6.5m×幅3m×深さ1.05mを掘削する。底部に基礎用碎石を厚さ140～200mm敷いて転圧して下さい。



②その上にコンクリートを厚さ50mm打設する。



③吊荷の状況



養生後、タイヤ洗浄機用鋼板製簡易ピットを設置。続いて本体を吊荷。



ピット内にタイヤ洗浄機を据付。



本体据付完了



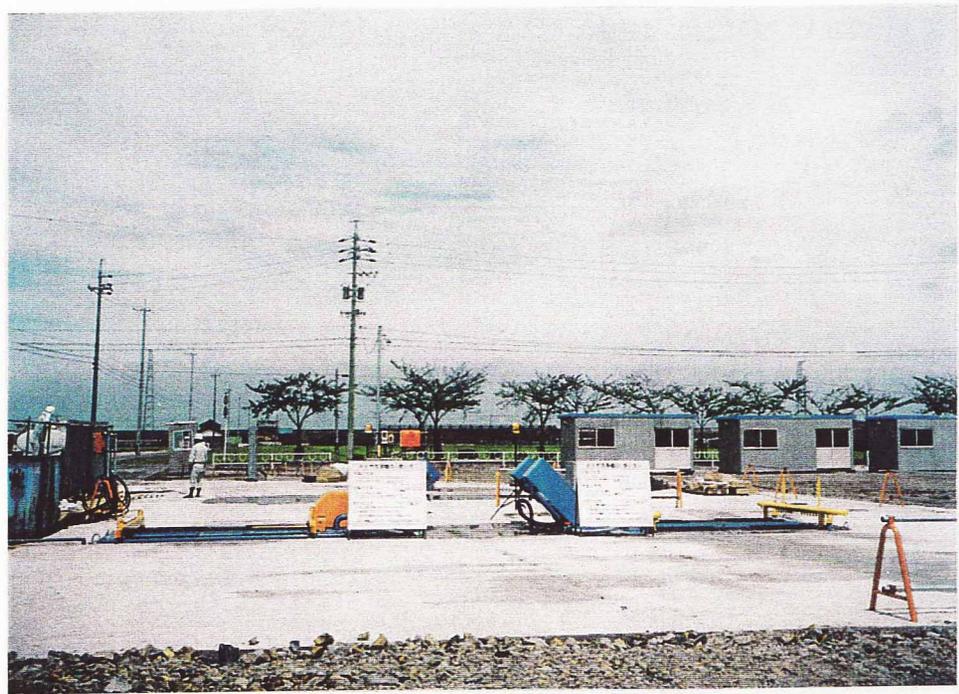
簡易ピット外周を埋戻し転圧。

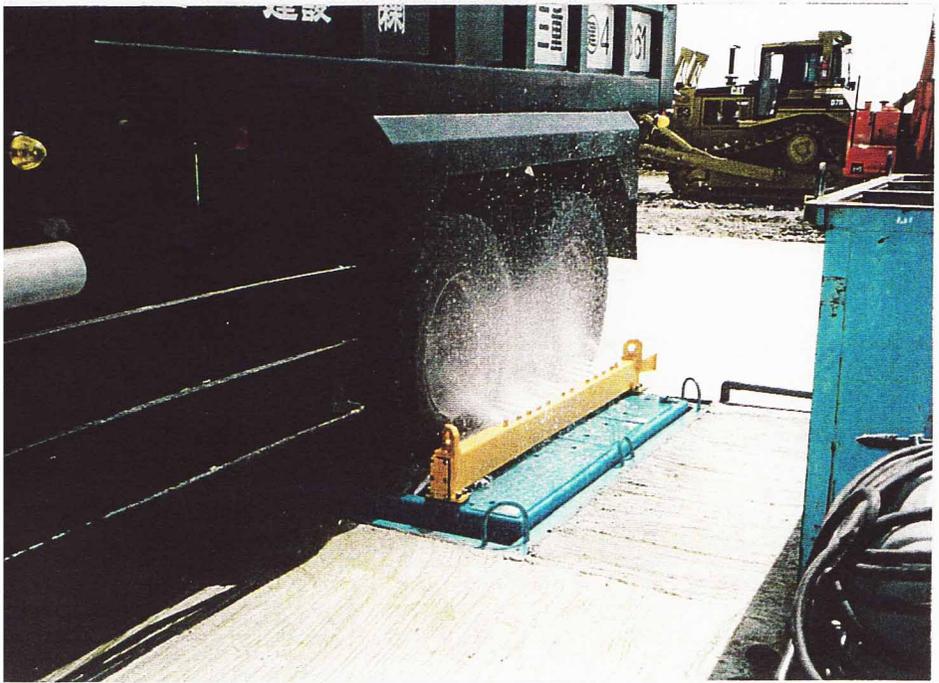


簡易ピット前後(車輛
進入路)に敷鉄板を設置
し、完了。



※現場設置例



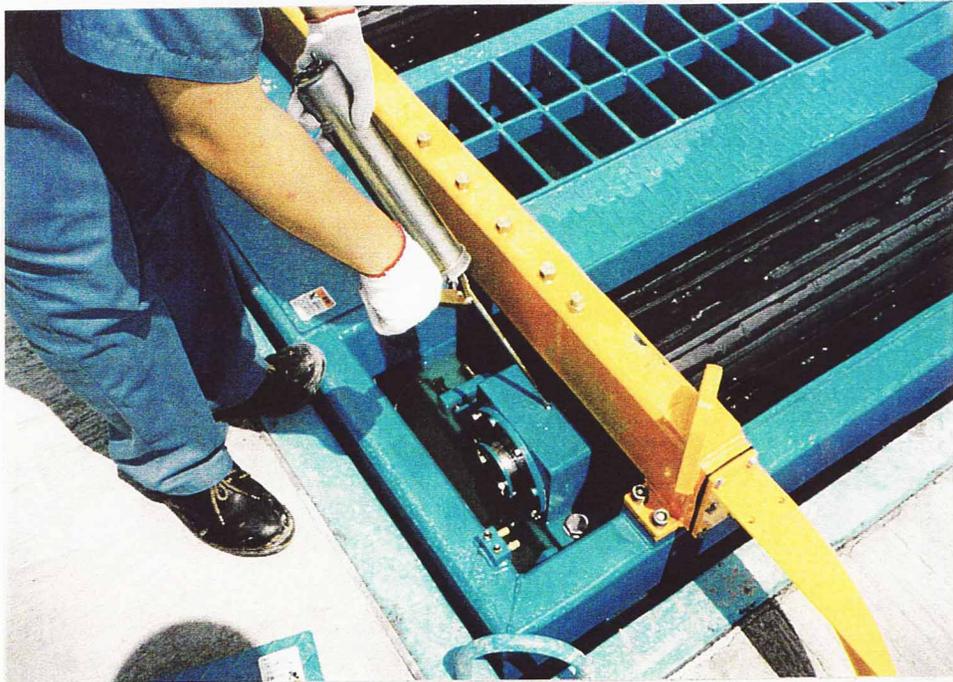


※点検（グリースアップ）

一ヶ月毎に行います。グリースの種類は重機用の一般的なグリースを使用します。コンベヤ用角フランジユニット、グリスニップル2ヶ所に、グリースアップを行います。

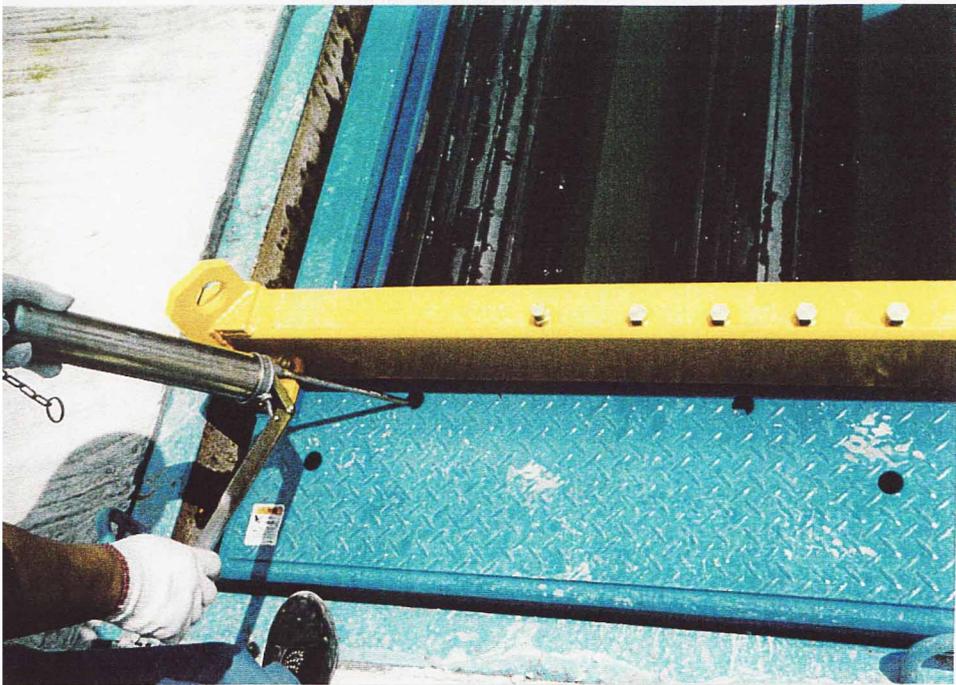


平板を外し、従動側軸受ブロック、グリスニップルに、グリースアップを行います。

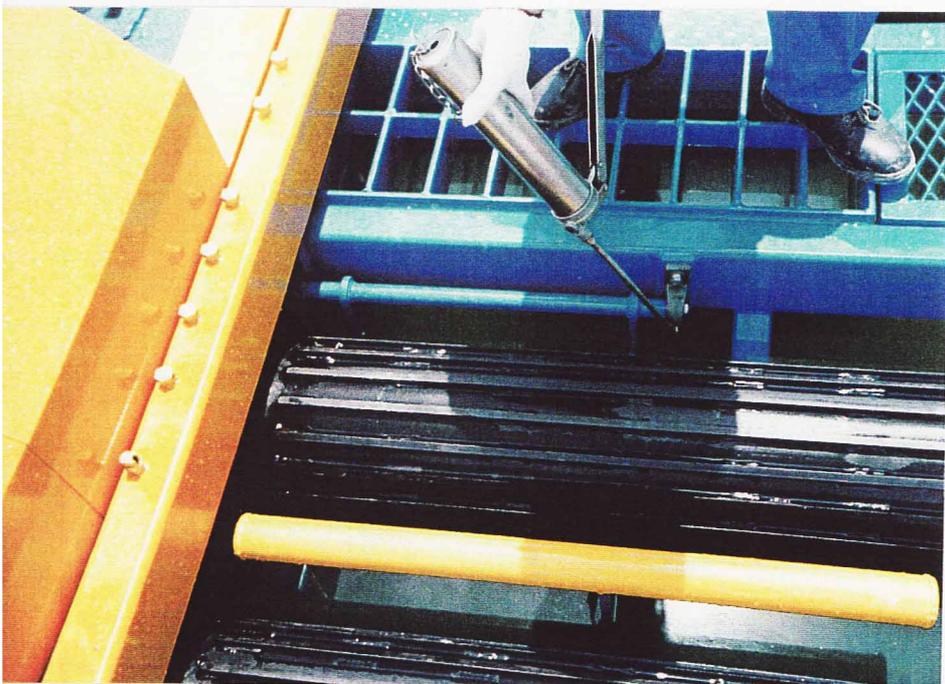


従動側軸受ブロック、グリスニップル2ヶ所に、グリースアップを行います。

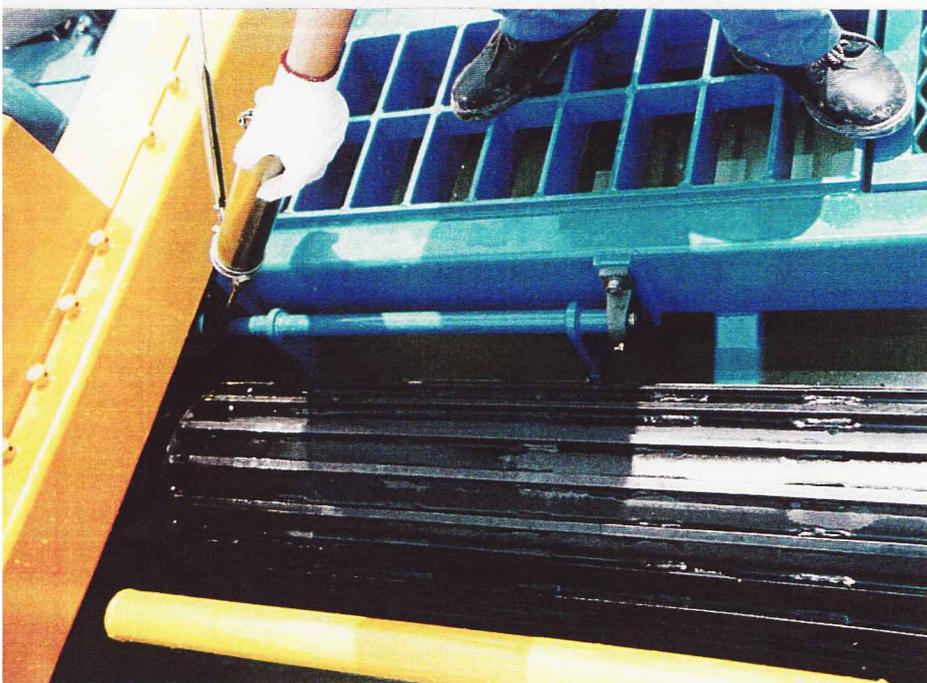




前項同様に行います。

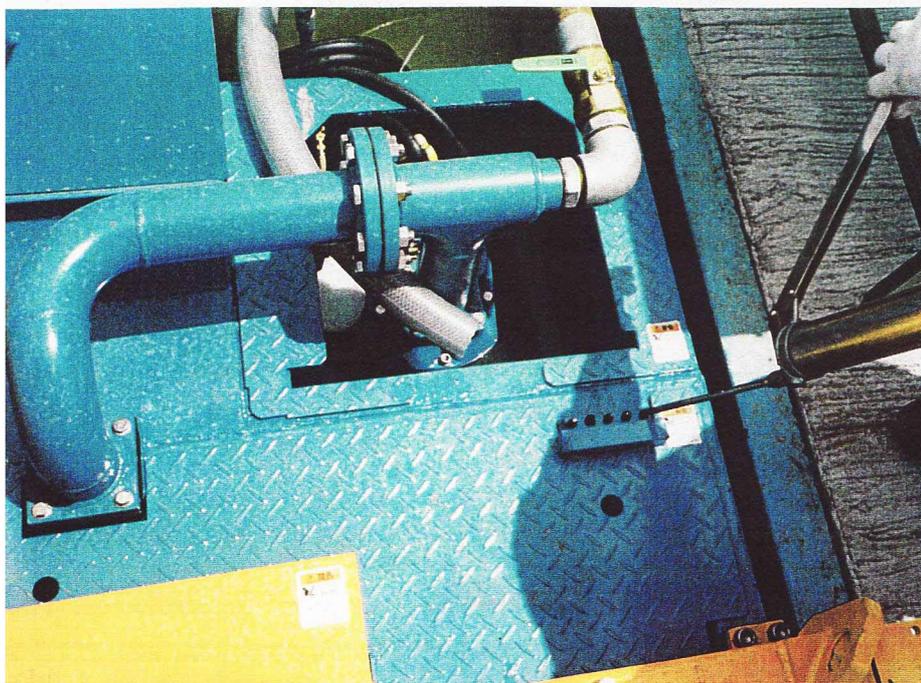


ステップスイッチ用ピロー形軸受、グリスニップル2ヶ所に、グリースアップを行います。



前項同様に行います。

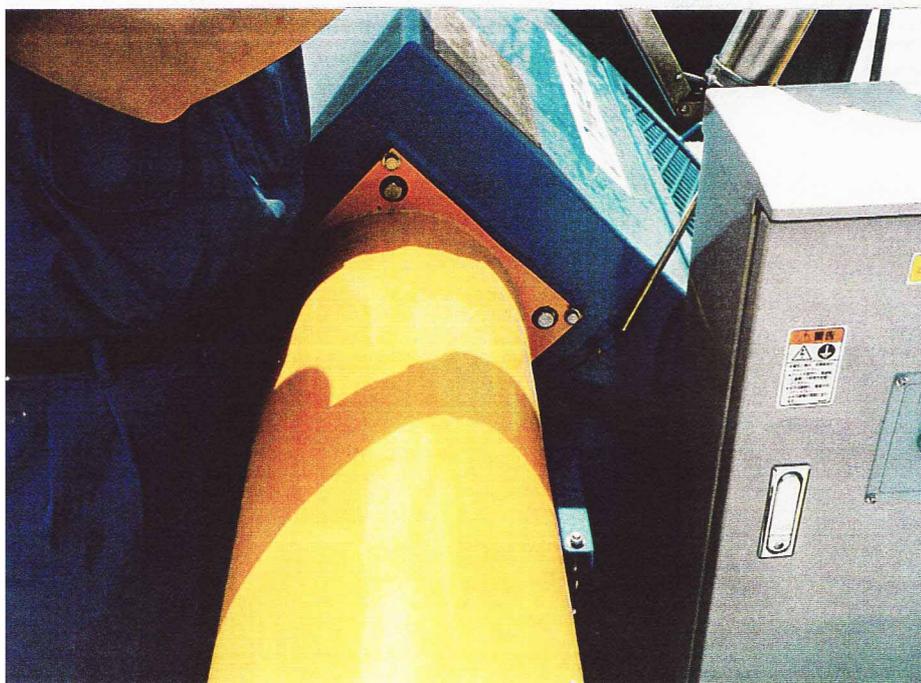
駆動側軸受ブロック及び、コン
ベヤ用角フランジユニット、グ
リースニップル4ヶ所に、グ
リースアップを行います。



コンベヤ用角フランジユニット、
グリースニップル2ヶ所に、グ
リースアップを行います。



前項同様に行います。



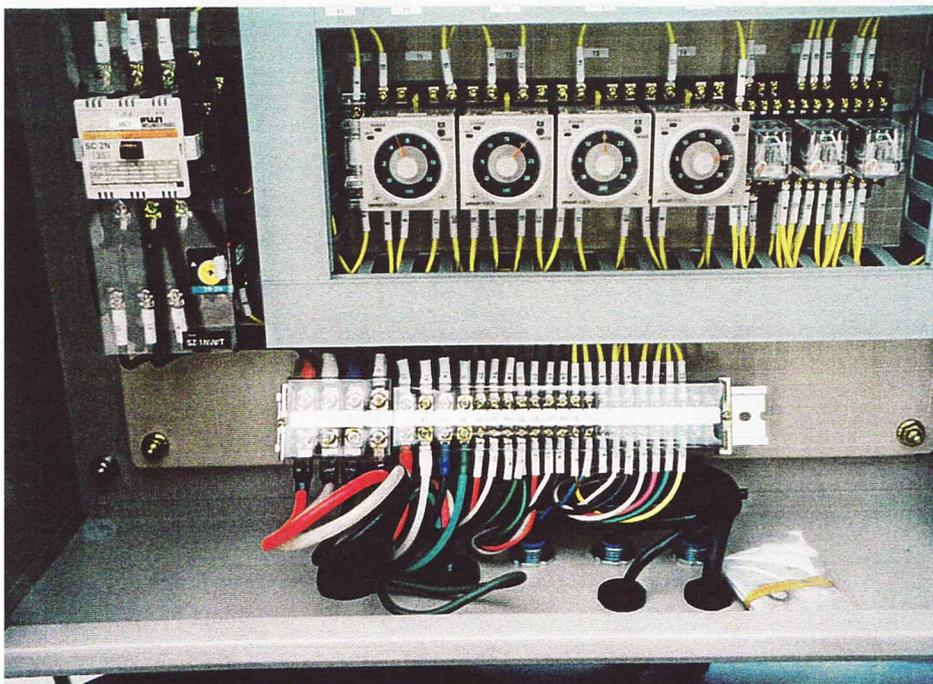
つめ取付用ピン、グリースニップルに、グリースアップを行います。

スベリクラッチ、グリースニップルに、グリースアップを行います。

（余白）

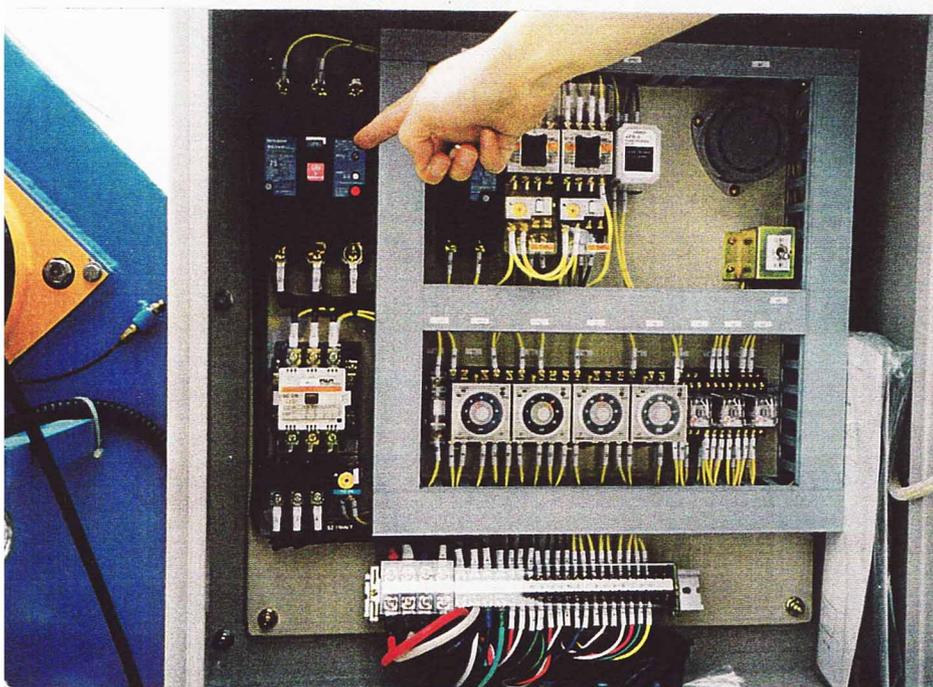
※ 試運転の準備

- ・電源と本体とのケーブル接続
盤内、端子台R, S, Tに電源側
ケーブル（4芯×14mm²以上）
を接続します。
- ・パトライトケーブルの接続
本体側ケーブルと、パトライト側
ケーブルをプラグ接続します。
（端子番号9、Sc）

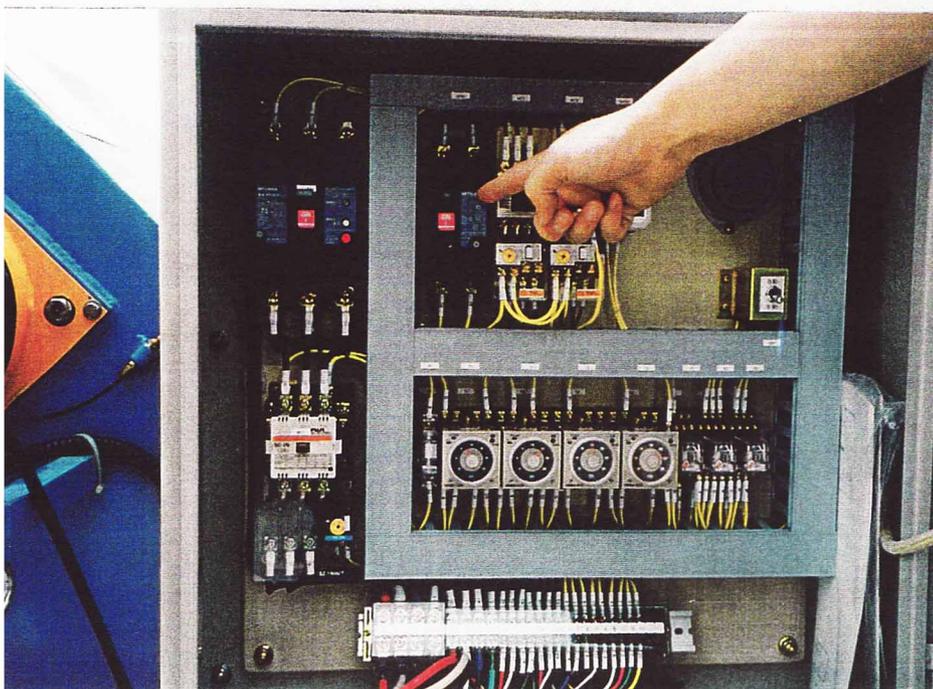


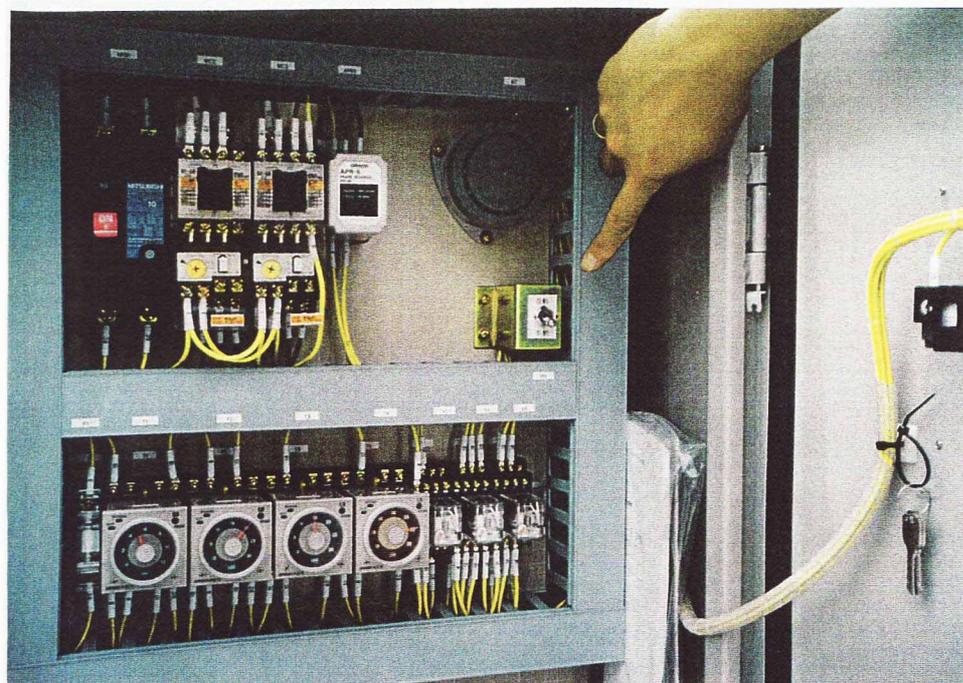
※ 試運転

- ・手動運転
主回路用漏電遮断器（ELB1）
をONにします。

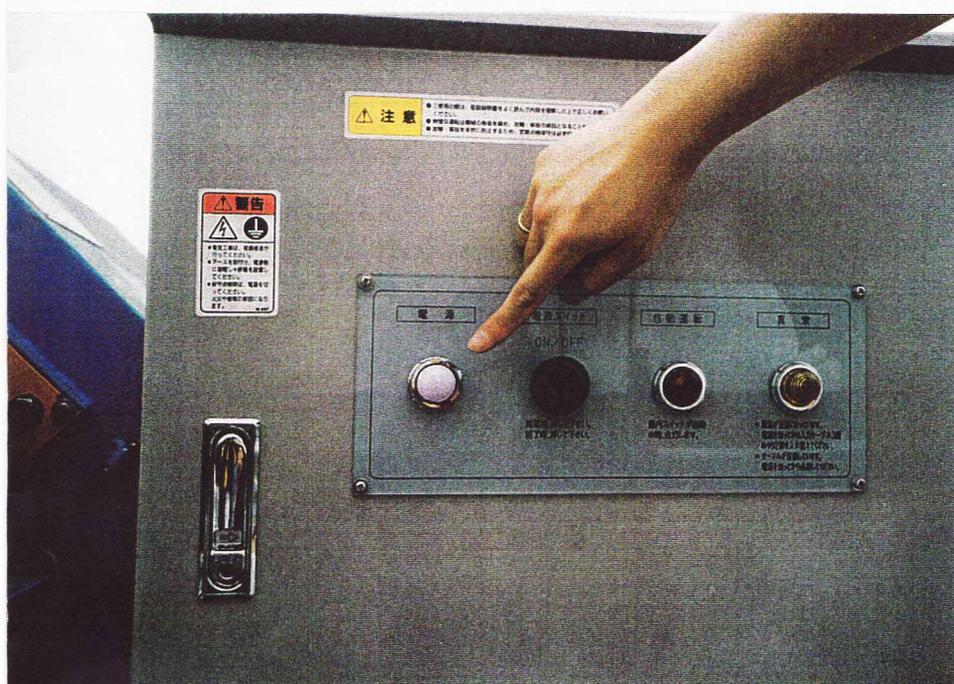


制御回路用配線遮断器（NFB1）
をONにします。





切換スイッチ（SS）を手動側に
します。



電源ランプ（WL）が点灯してい
る事を確認します。

（消灯している場合電源が供給さ
れていません。）

電源スイッチを押しONにします。

異常黄ランプ（OL）が点灯した
場合、電源が逆相となっています。

（端子台R、S、Tのいずれかを
入替え、正相として下さい。）



遠隔操作スイッチを準備します。

電源灯（RL2）の赤ランプが点
灯している事を確認します。

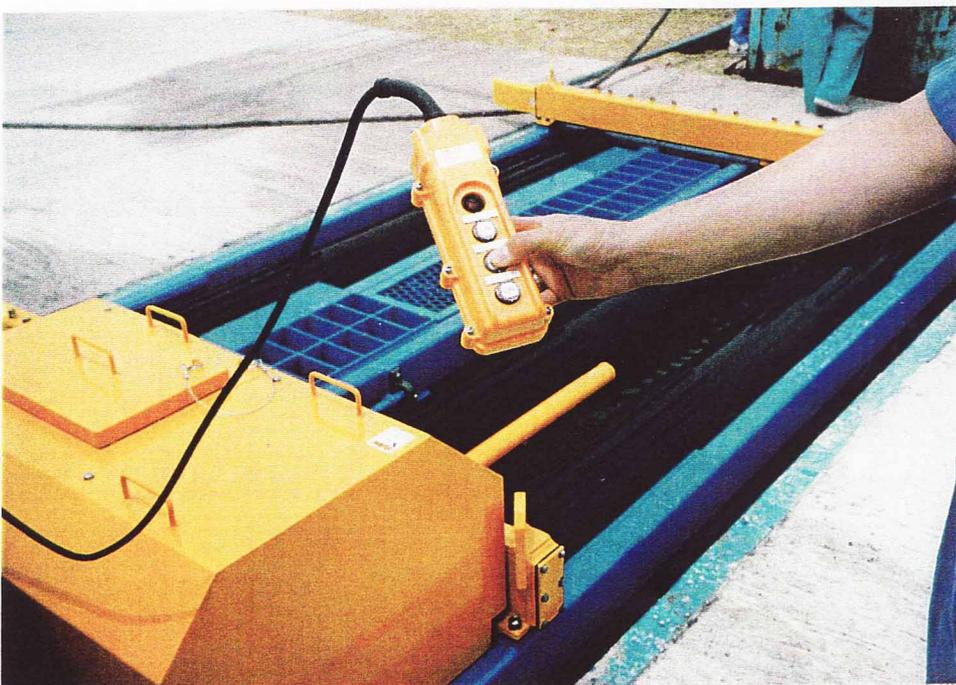
・洗淨確認

ポンプ起動用ボタン（PB11）
を押し、洗淨の確認を行います。



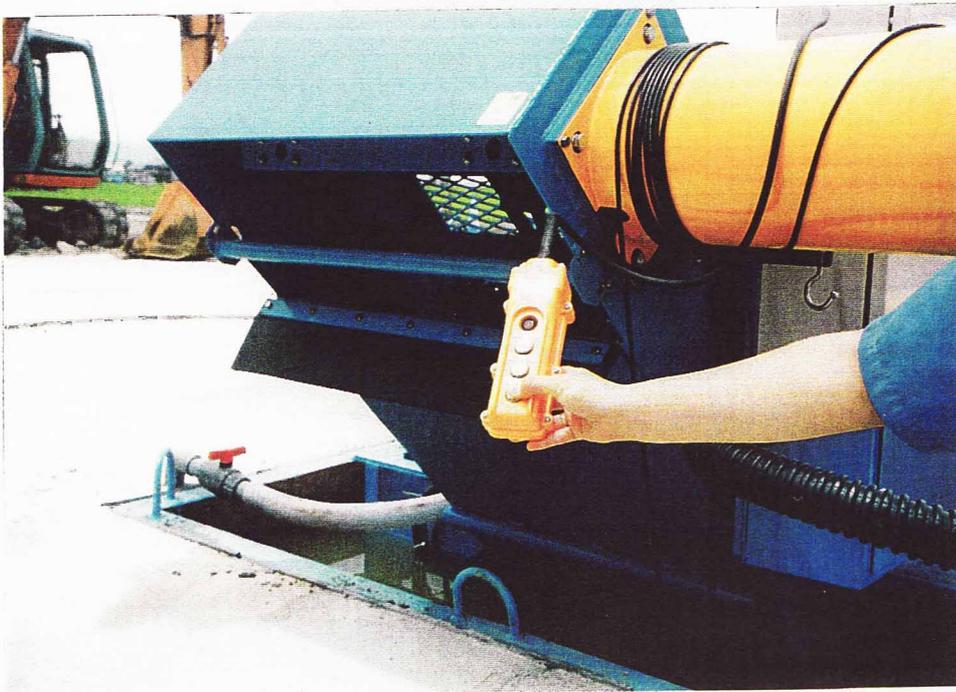
・ローラ確認

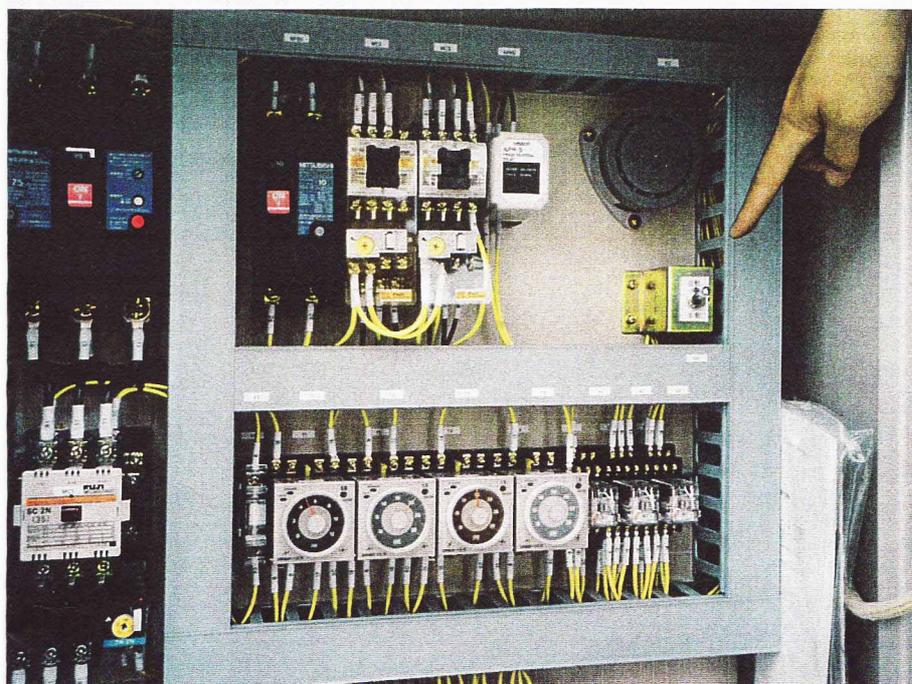
ロール駆動用ボタン（PB12）
を押し、ロール駆動の確認を行います。



・コンベヤ確認

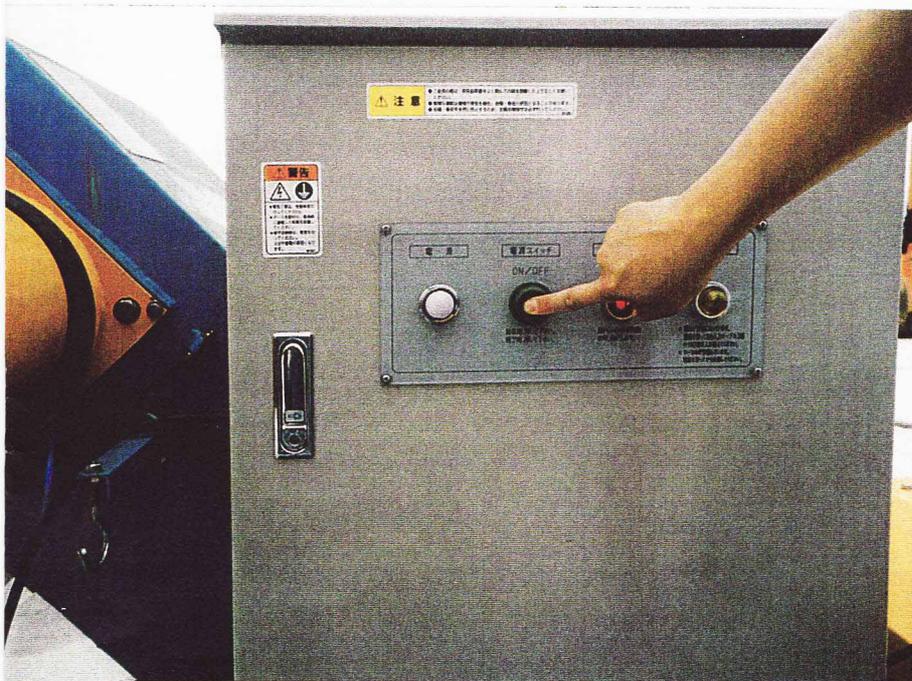
コンベヤ起動用ボタン（PB13）
を押し、コンベヤ起動の確認を行
います。



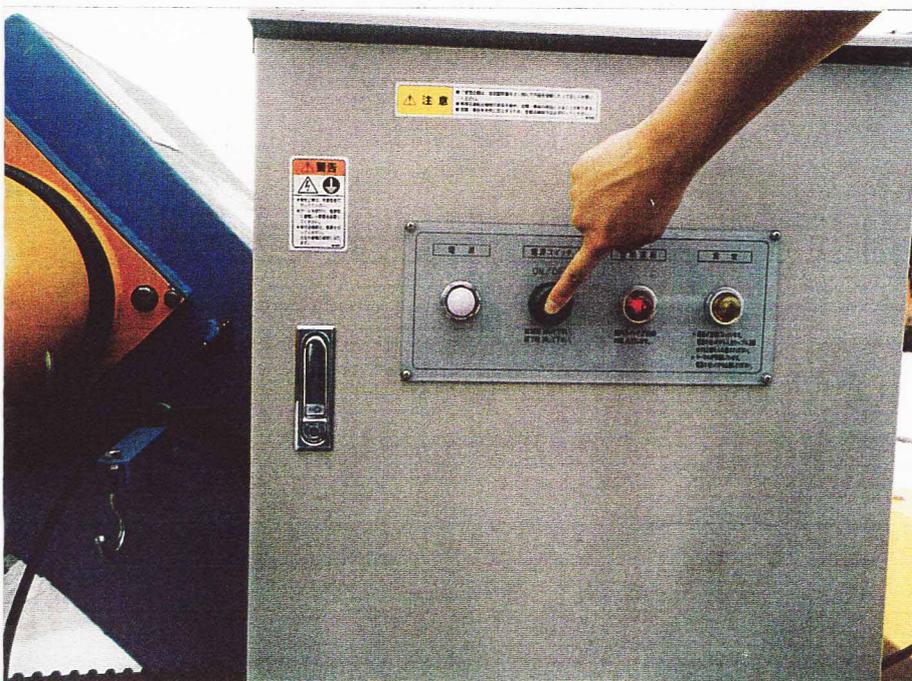


※運転開始

- ・自動運転
切替スイッチ（SS）を自動側に
します。



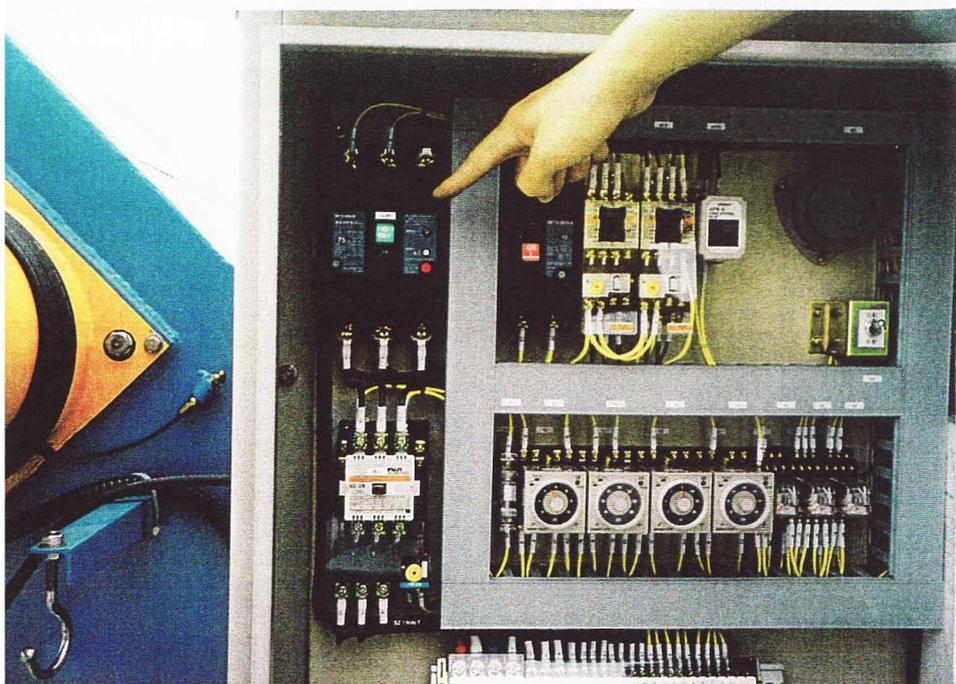
- 電源スイッチを押し、ONにしま
す。
自動運転赤ランプ（RL1）が点
灯している事を確認します。
車両を進入させ洗浄を行います。



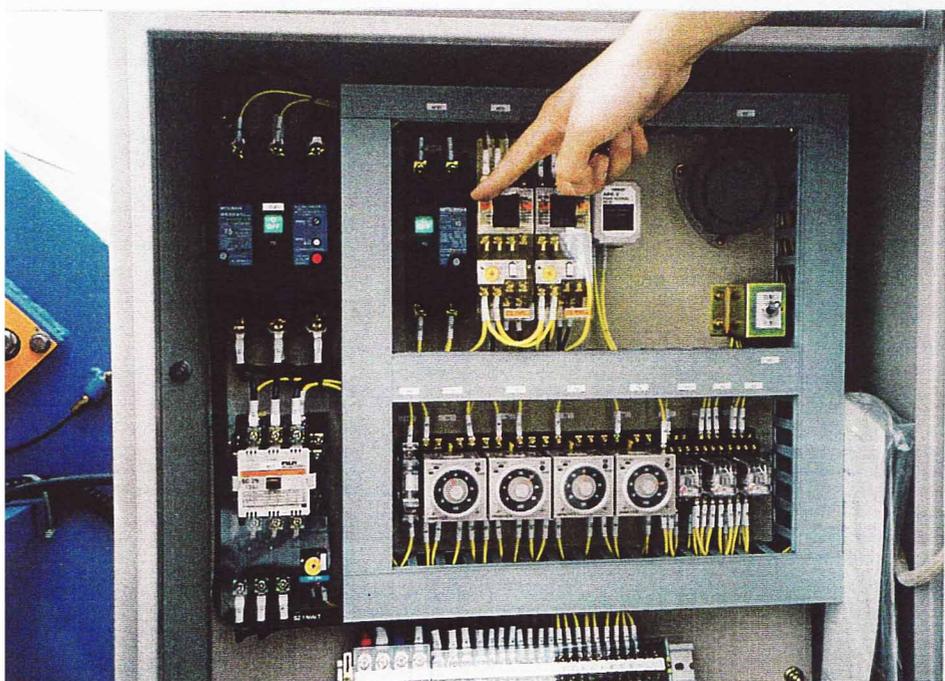
※運転終了

- 電源スイッチを押し、OFFにし
ます。
自動運転赤ランプ（RL1）が消
灯した事を確認します。

主回路用漏電遮断器（ELB1）
をOFFにします。



制御回路用配線遮断器（NFB1）
をOFFにします。



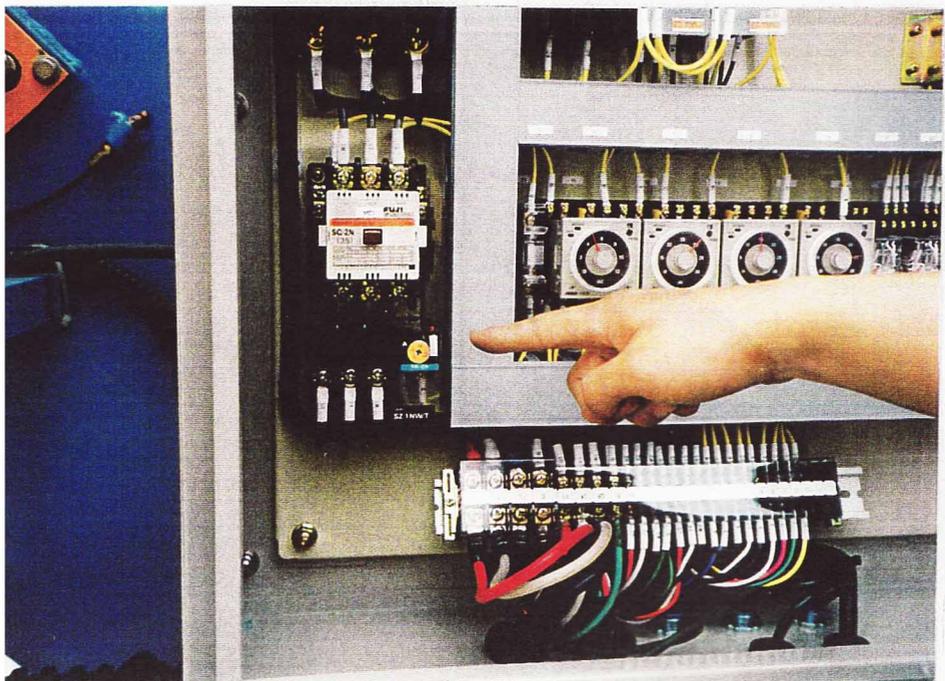
※故障の原因と対策

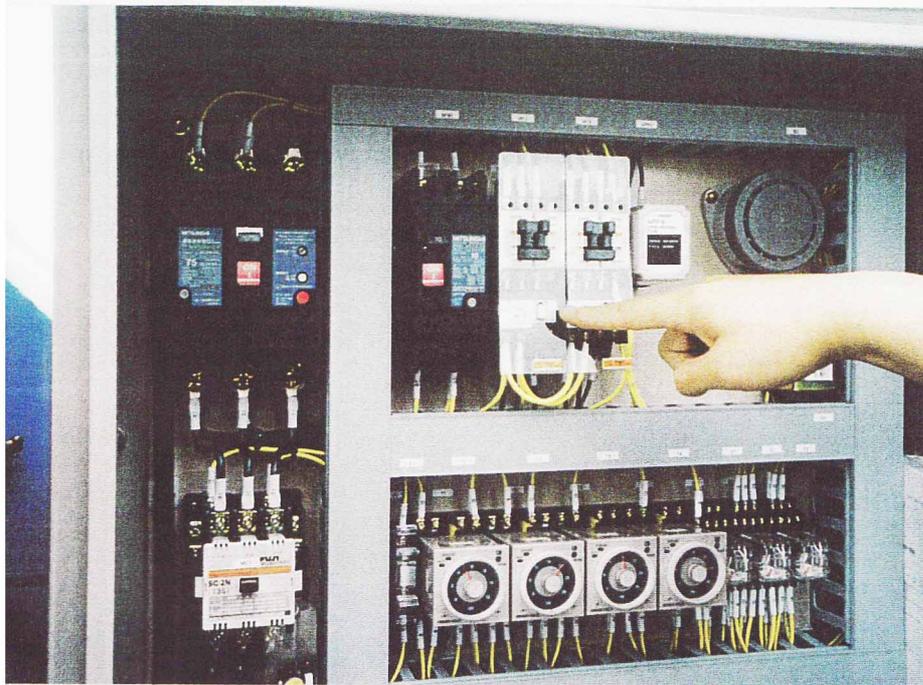
- ・ポンプ用サーマルリレー

（MC-1）トリップ

ポンプの羽根車を点検し、異物噛
込の確認をします。

確認後、サーマル、リセットボタ
ンを押し、再度運転を行います。



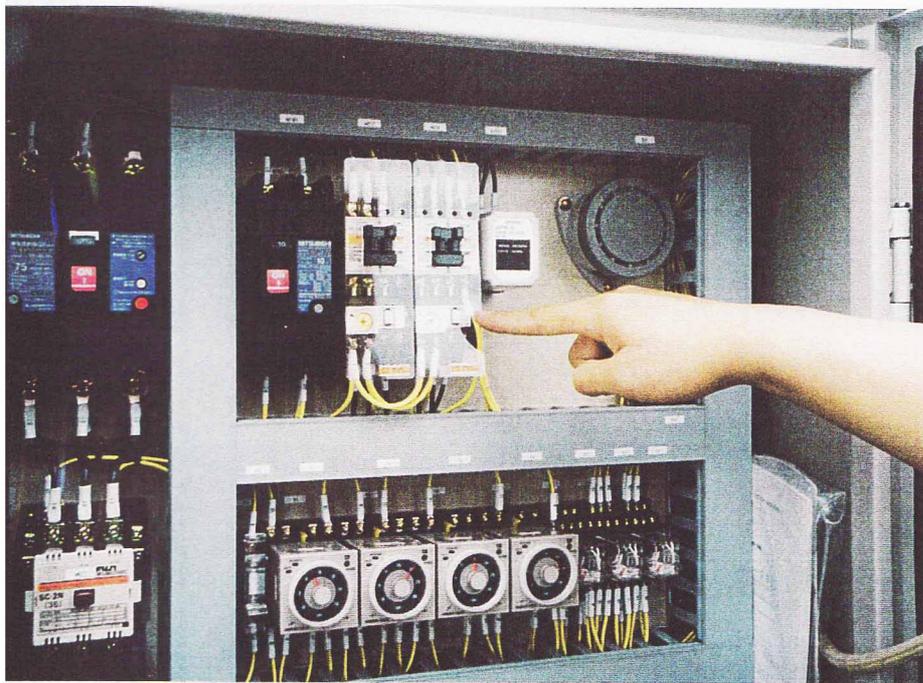


・ローラ用サーマルリレー

(MC-2)トリップ
進入車両が、ブレーキ及びクラッチ
が入っていないか確認します。

又、ローラ用チェーンの伸び及び、破損を確認します。

確認後、サーマル、リセットボタ
ンを押し、再度運転を行います。

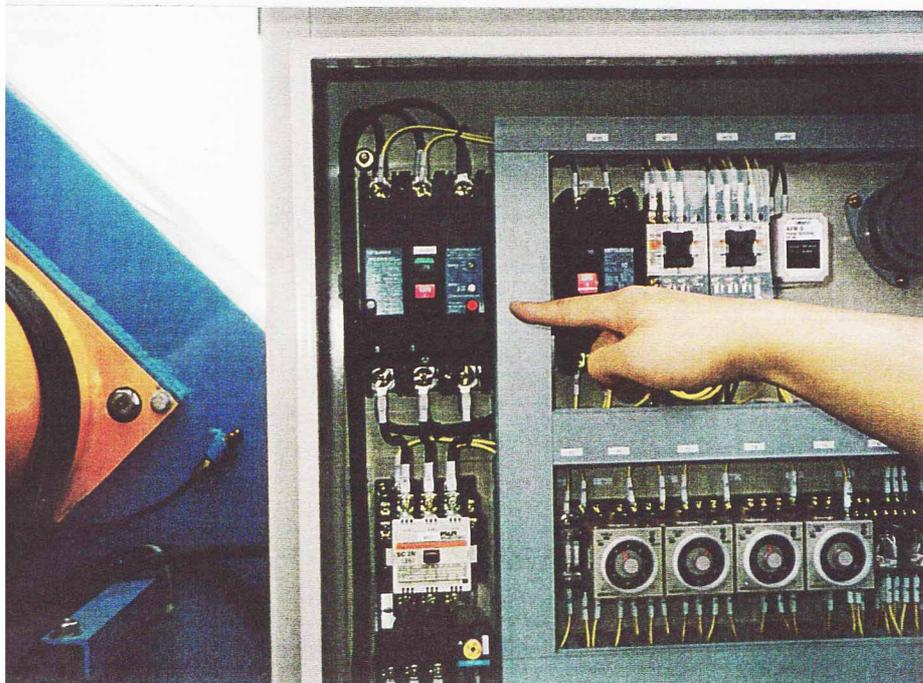


・コンベヤ用サーマルリレー

(MC-3)トリップ
コンベヤ用チェーンの伸びを確認
します。伸びがある場合チェーン
張りの調整を行います。

機内ピットに異物が混入していな
いか確認します。

確認後、サーマル、リセットボタ
ンを押し、再度運転を行います。



・主回路用漏電遮断器

(ELB1)トリップ
主回路(動力線)にて、漏電が発
生しております。

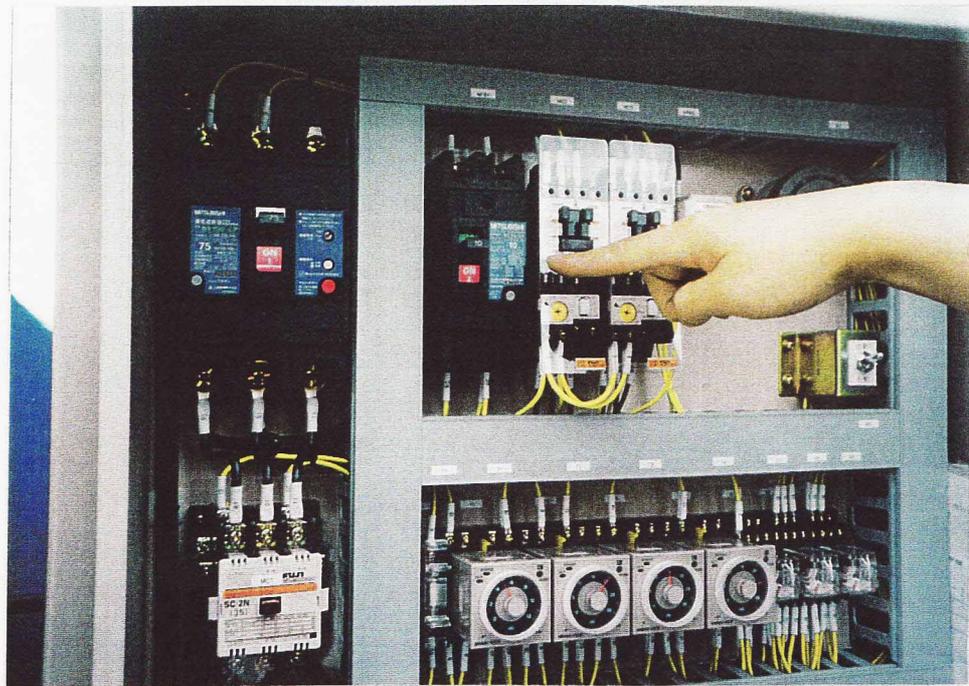
ブレーカーをOFFにし、ポンプ、
ローラ、コンベヤの絶縁抵抗を確
認します。

確認後ブレーカーをONにします。

・制御回路用配線遮断器

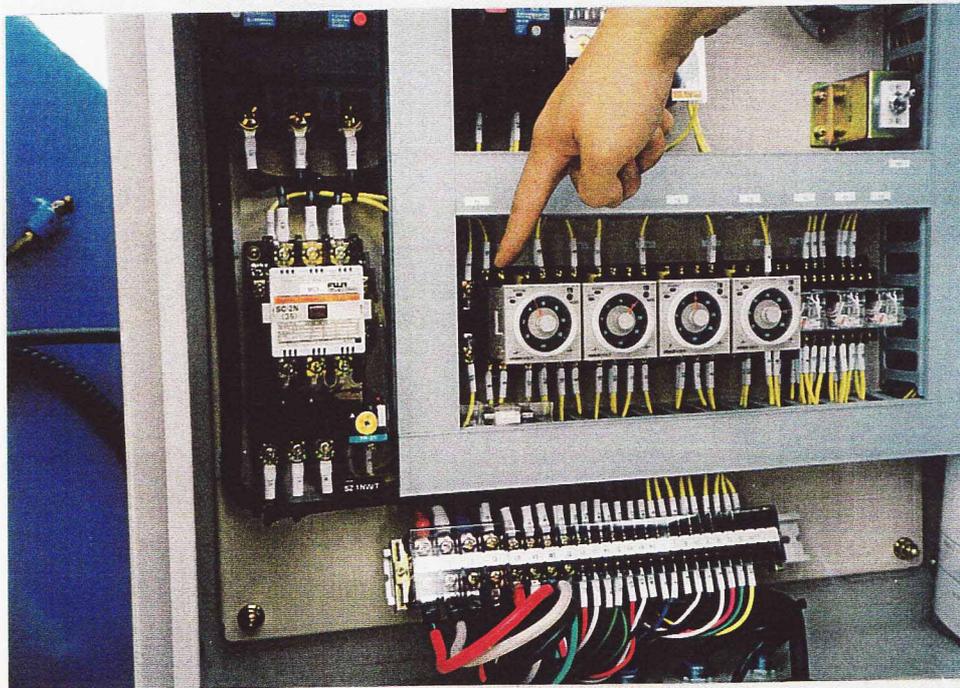
(NFB1)トリップ

制御回路にて、漏電が発生しております。制御回路を確認します。確認後、ブレーカーをONにします。



・ヒューズのショート

制御回路にて、過電流が発生しております。制御回路を確認します。確認後、ヒューズを交換します。

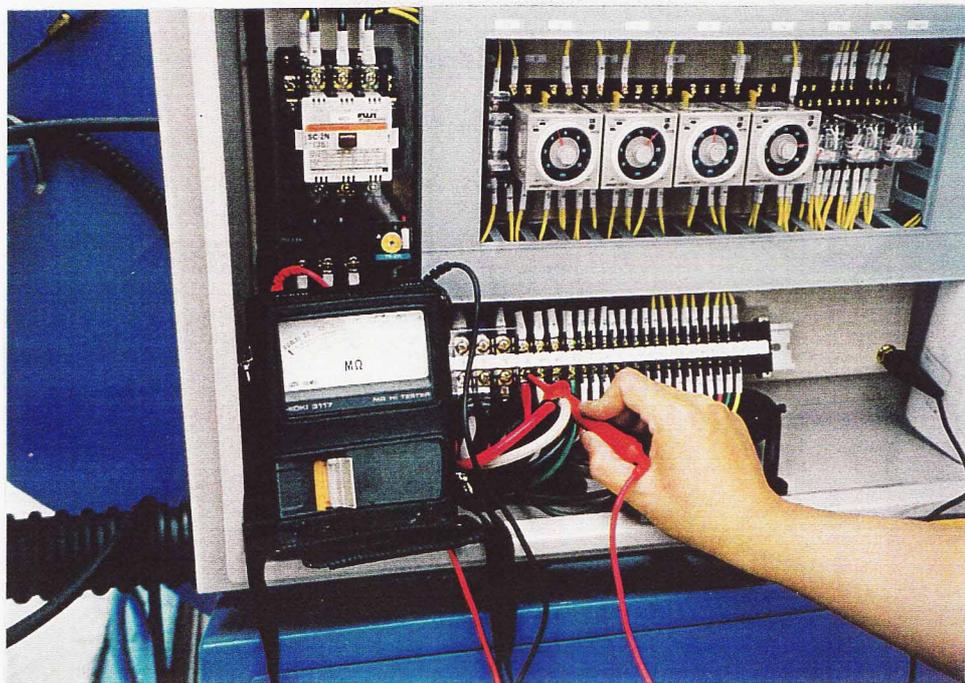


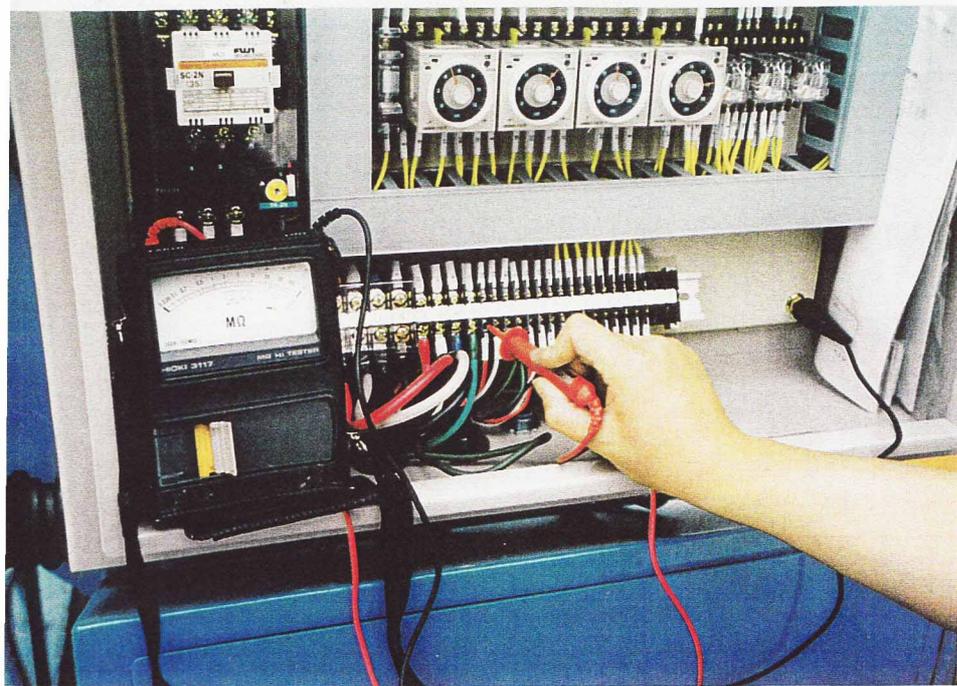
※点検 (絶縁測定)

・ポンプ絶縁測定

ブレーカーをOFFにします。
端子台U1、V1、W1、対G
(アース)で、メガテスターにて
絶縁測定を行います。

1MΩ以上ある事を確認します。



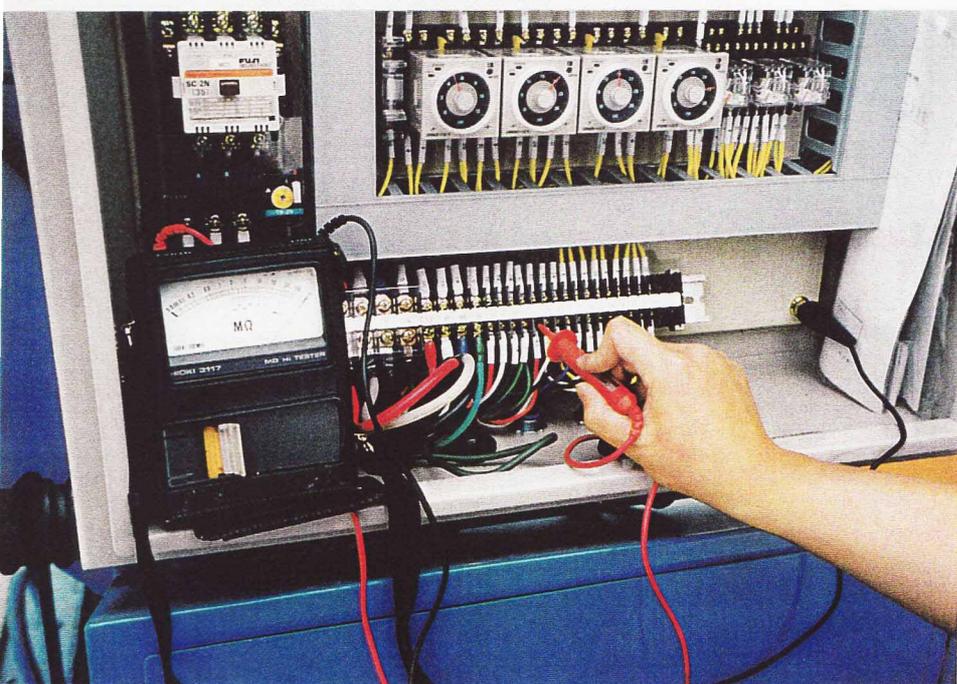


・ローラ絶縁測定

ブレーカーをOFFにします。

端子台U2、V2、W2、対G
(アース)で、メガテスターにて
絶縁測定を行います。

1 MΩ以上ある事を確認します。



・コンベヤ絶縁測定

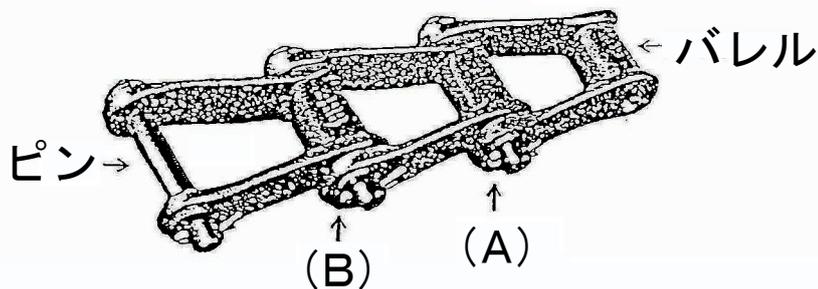
ブレーカーをOFFにします。

端子台U3、V3、W3、対G
(アース)で、メガテスターにて
絶縁測定を行います。

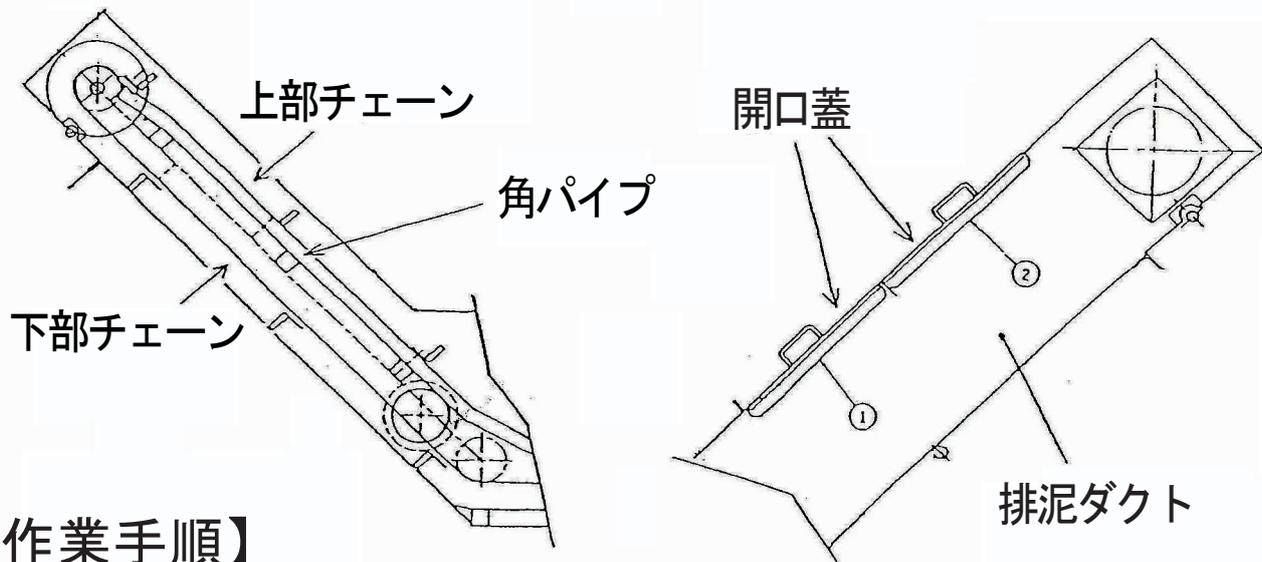
1 MΩ以上ある事を確認します。

ピントル・チェーン切り継ぎ

1. ピントル・チェーン各部名称



2. ピントルチェーンの外し方・継ぎ方



【作業手順】

(1) 開口蓋2箇所 (①、②) 取り外す。

※ピントルチェーンが2列構成になっているので、1列ずつ作業を行う。

(2) チェーン上部を引っ張り上げ、抗 (バール等) をチェーン (C) 部に入れ、チェーン下部の (C) 部に通し、角パイプで支えるようにする。

この時、ダクト底部に当たるまで差し込む。

(3) バレル部の割りピン (A) を抜き、ピンを抜く。

(4) バレル部の割りピン (B) を抜き、1リンク外す。

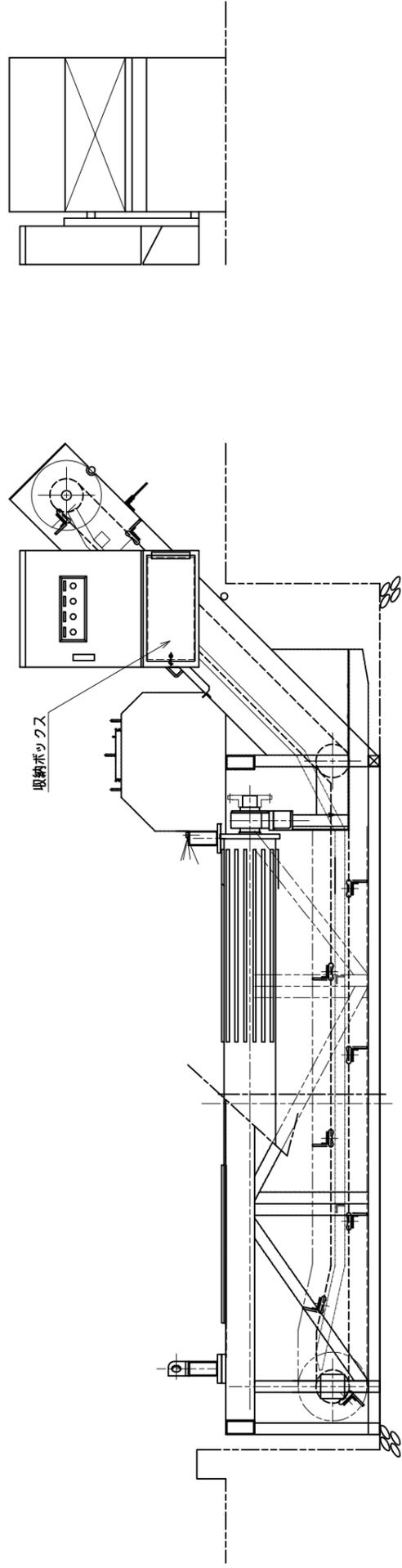
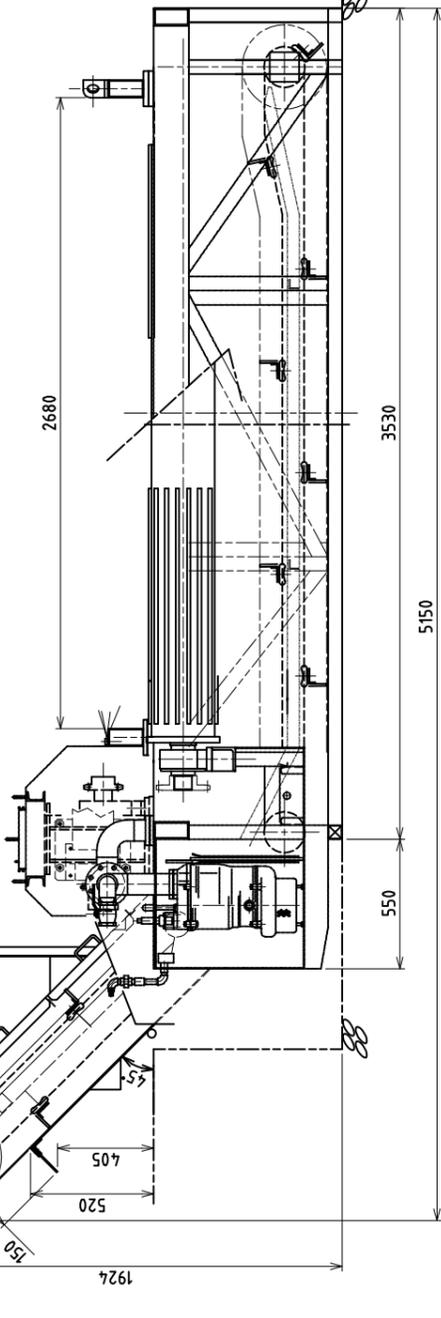
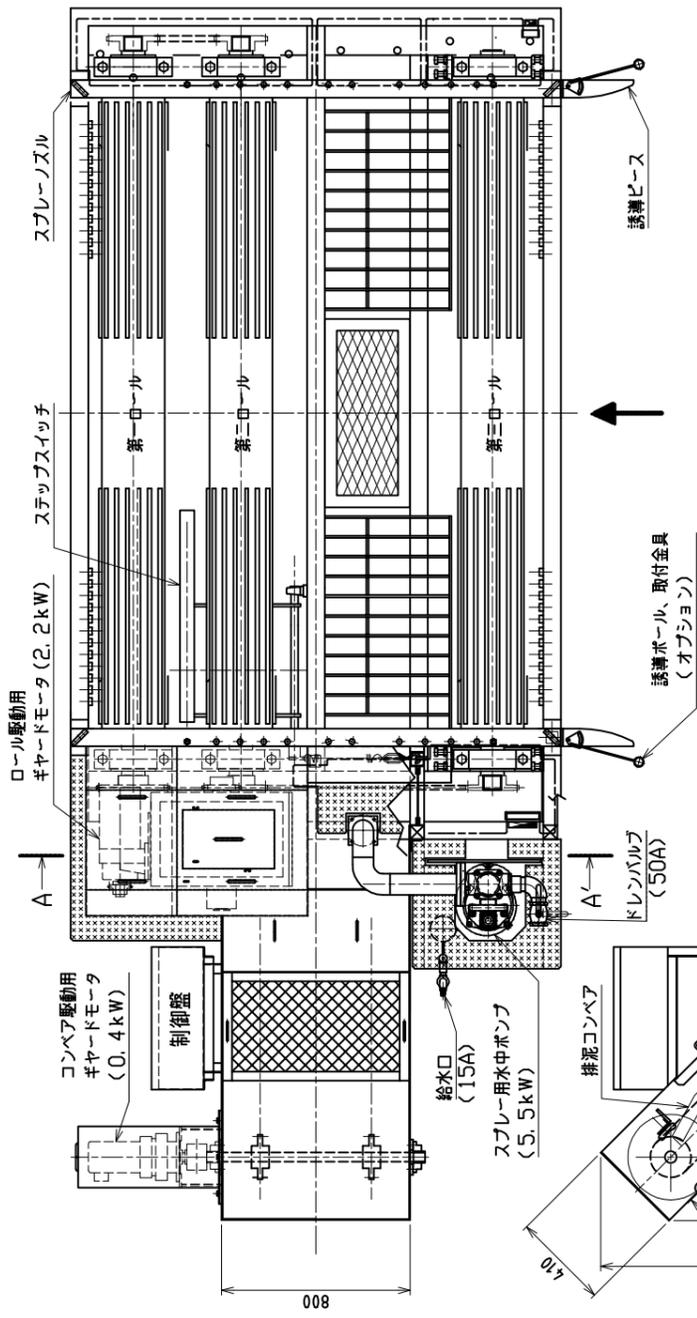
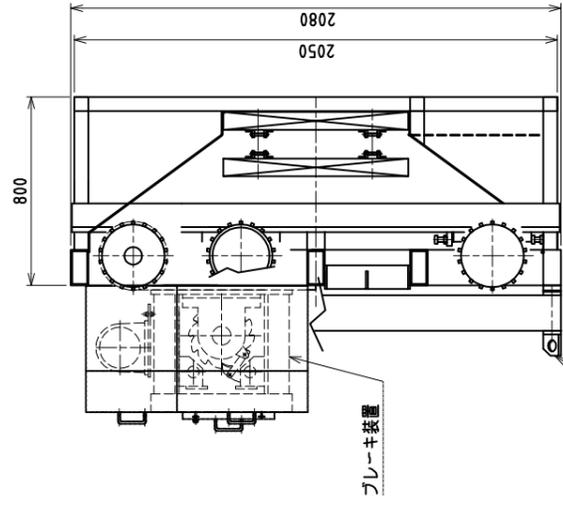
(5) (3)・(4) のチェーンを継ぎ、バレルにピンを通し、割りピンで止める。

タイヤ洗浄機 保守点検記録表

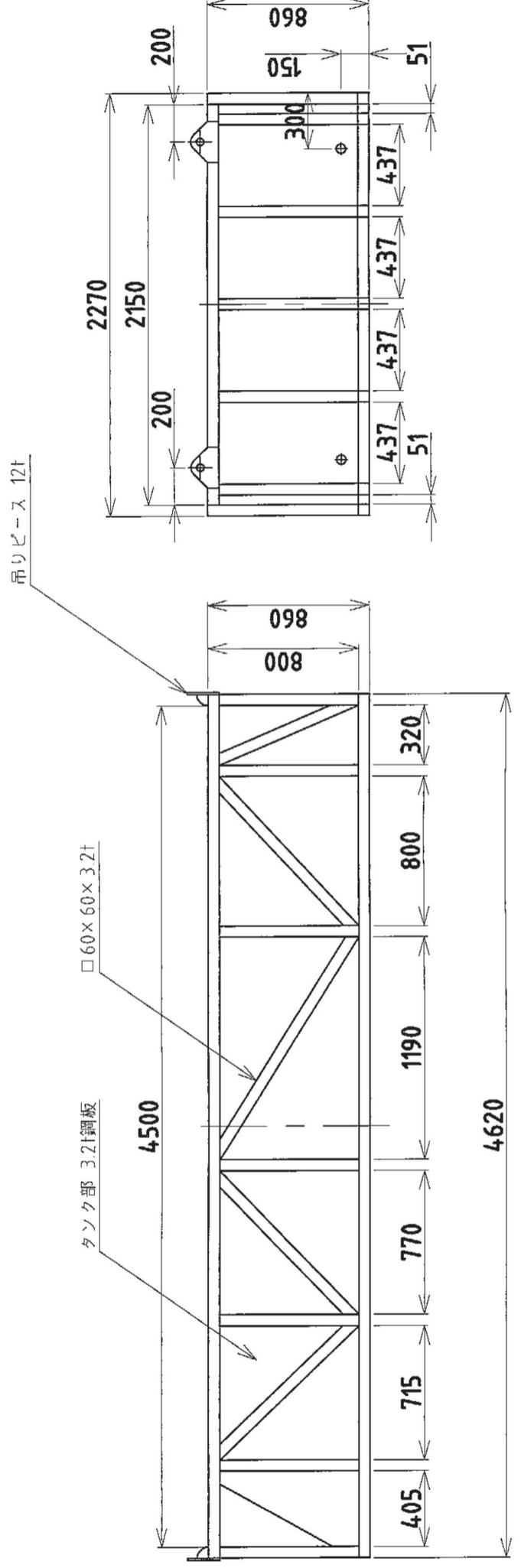
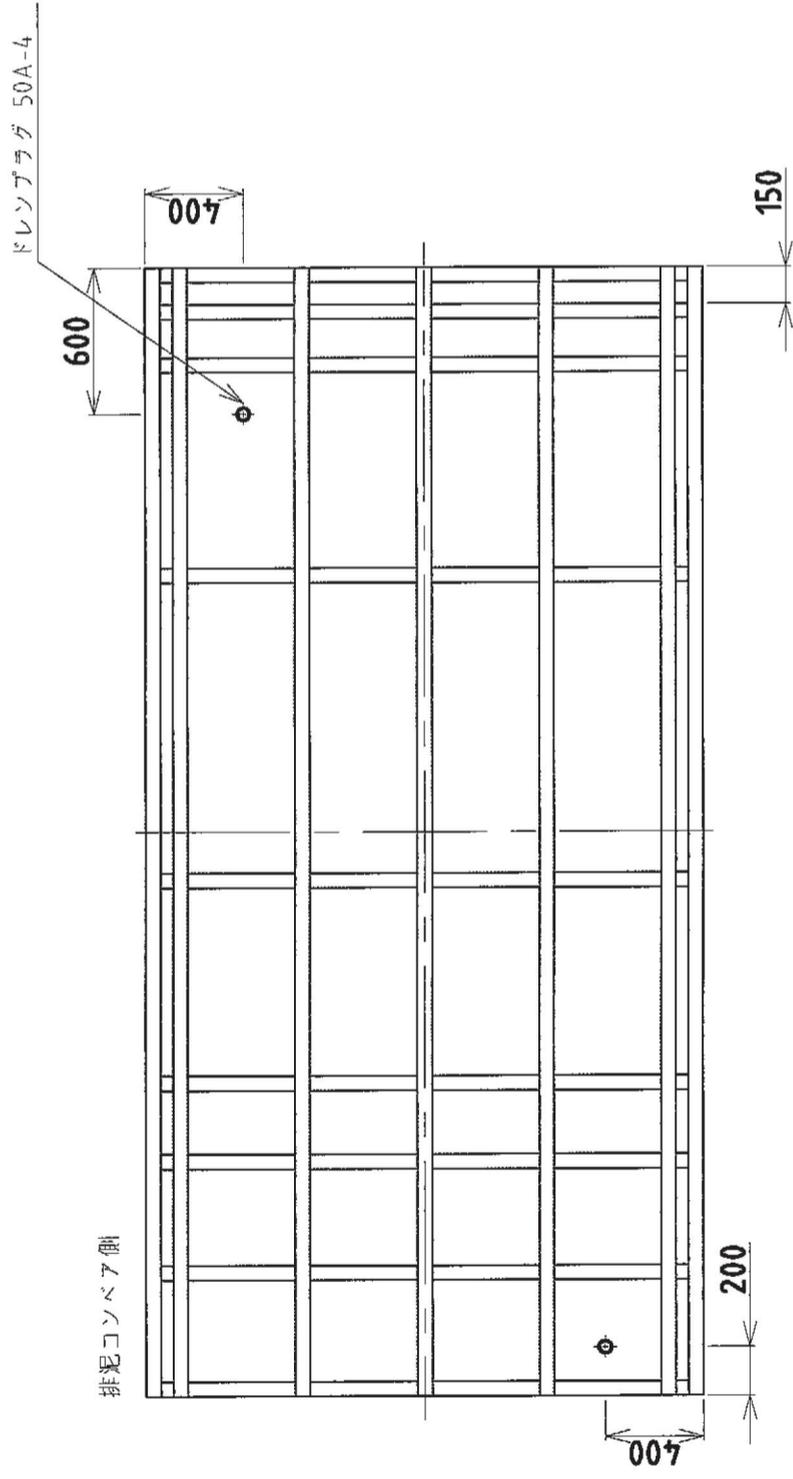
御使用者		点検者	
検査場所		製造番号	
設置年月		点検日	
総合判定			

異常なし		交換	×	締付	S	清掃	C
調整		修理		分解	B	給油	G

保守点検項目		保守点検時期				判定
		1 年 毎	1 ヶ 月 毎	1 週 間 毎	日 常	
外 観	機械本体や各機器に損傷がないか					
	周囲に異物とか危険なものがないか					
	機械の上に物がのっていないか					
	安全ラベルが読みにくくなったり、剥がれていないか					
	ボルト・ナットにゆるみがないか					
制 御 盤 関 係	指定の電圧、周波数であるか					
	電源ケーブルに無理な曲げ、ねじれ、挟み込み、つぶれ等はないか					
	配線接続箇所にはゆるみがないか					
	タイマ設定は指定通りであるか					
	サーマルリレー設定は指定通りか					
	絶縁抵抗値は基準以上か					
	漏電用遮断機テストボタンによる動作は適切か					
運 転 動 作 時	正しい洗浄動作か					
	動作毎に制御盤ランプが点灯しているか					
	異常音又は音の急激な変化はないか					
	振動が異常に大きくないか、又は急激な変化がないか					
	洗浄水量が十分にあるか					
	洗浄水が汚れていないか					
	スプレーノズル穴がつまっていないか					
	洗浄水が汚れている場合、機内ピットの排水					
	機内ピットの排水時に泥土が堆積していないか					
	機内ピットの排水時にスクリーンが目詰まりしていないか					
ブ ロ ー ル キ 駆 動 装 置	進入・退出時、ブレーキ(ロールロック)は正常に作動するか					
	駆動チェーンの張りは適当か					
	ロール軸受部にグリスを適量補充する					
	ラチェットブレーキ部にグリスを適量補充する					
	駆動チェーンに磨耗腐食防止用にオイルを給油する					
	軸受用グリスの交換					
	ロール駆動用ギヤードモータのオーバーホール					(3～5年)
排 泥 装 置	ピンチチェーン上側がジョイントピンでつながるほど伸びていないか					
	軸受部にグリスを適量補充する					
	軸受用グリスの交換					
	コンベア駆動用ギヤードモータのオーバーホール					(3～5年)
ス プ レ ー 装 置	スプレー用水中ポンプ軸封装置室のオイル交換					
	スプレー用水中ポンプのオーバーホール					(2～5年)
ス ス テ ッ チ ブ	ステップスイッチのアームの戻りは適切か					
	ステップスイッチを踏んだ時にパトライトは点灯するか					
	軸受部のグリスを適量補充する					
備考						



鋼製ピット図 (MTW-10用)



重量 : 約 800 kg